

民生家庭部門の省エネルギー促進からの低炭素社会実現(Vol.2)

継続的な節電行動を促すためには「社会規範評価の刺激」や「必要最低限の情報を効果的に提供するナッジ (“Nudge”) 概念」で低炭素化行動を支援することが必要

■ 家庭の電力使用量見える化実験

実際に計測されたデータに基づいて節電効果を算定し、低炭素化行動を促すために社会規範評価を刺激する仕掛けを取り入れた「節電アドバイス機能」を開発し、i-cosmos に実装した。

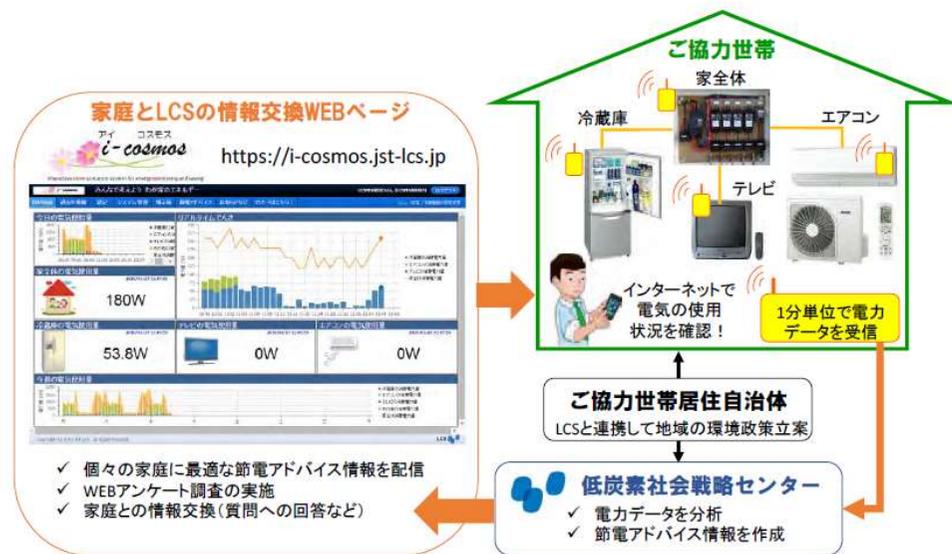


図1 家庭の電力使用量見える化実験および見える化WEBサイト「i-cosmos」の概要

ナッジ Nudgeとは

(注意を引くためひじで)そっと突く、そっと突く、(ひじで)そっと(横に)押して動かす、ひじで押しながら進む、そっと動かす。

■ 節電アドバイス機能の例

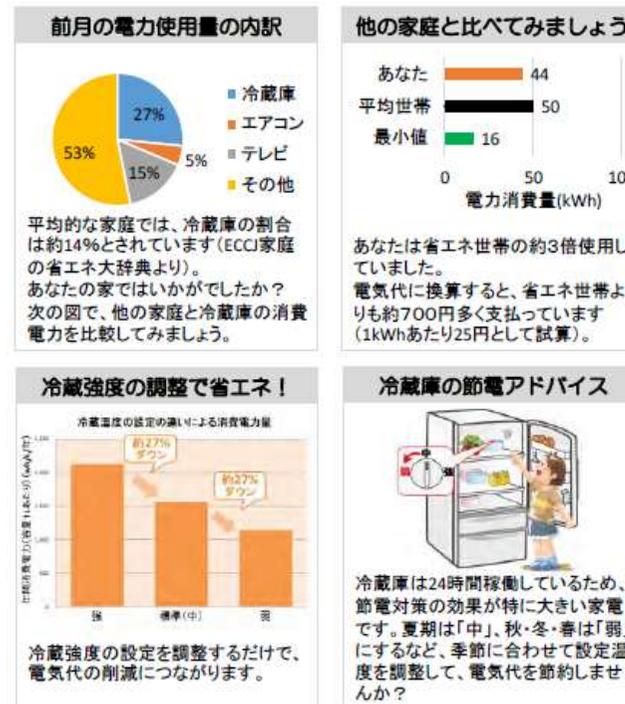


図2 冷蔵庫の節電アドバイスモジュール

今後の課題と提案

今後もデータ分析を進めて節電アドバイスに応用可能な知見を得ると同時に、節電アドバイスや節電目標の提示による実際の節電効果を明らかにし、日本全国に本システムを広める必要がある。